

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	⑩ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段			目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)
総合計画まちづくりプランに示す「安全で人にやさしいまち」、「調和のとれた便利なまち」、「快適で住みよいまち」、「活力とにぎわいのあるまち」、「自然と共生する美しいまち」を目指し、経済環境部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進する。	1. 産業振興ビジョンの進行管理	・ビジョンにおける行動計画としてのアクションプランについて、各重点施策の活動指標のH30年度実績を取りまとめ、点検及び評価する。	・各重点施策H29年度実績の取りまとめを行う。産業振興ビジョン推進委員会内に外部関係者を含む「評価チーム」を設置し、各重点施策を点検の上、意見を集約する。		11月19日に、産業振興ビジョン評価チーム会議において、103個のアクションプラン(行動計画)の検証・評価を行った。 評価チームの検証・評価の結果は概ね良好に進んでいるとの結果であった。	B	評価チームの検証・評価の結果は概ね良好であったが、アクションプランの数が多いこと、現場関係者からの聞き取り調査が不十分との指摘があったことから、次年度はさらにアクションプランの精査とニーズ調査等の現場での聞き取りを進めていきたい。
	2. 消費者の安全・安心確保のための取組	・市民の安全・安心な暮らしの実現に向け消費者被害の未然防止のための啓発や学習機会の提供を行う。 ・消費者被害の回復のため国民生活センターと連携し相談、あっせんを行う。	・消費生活センター相談の実施 ・消費生活講座の開催 ・消費生活展の開催 ・出前講座、街頭啓発など地域での啓発活動の強化 ・消費生活安全法等に係る立入検査の実施	9	・講座を12月に開催し51名が参加した。 ・包括支援センターや社会福祉協議会と連携しセミナーを開催し64名が参加した。 ・出前講座を2回開催した。 ・立入検査を実施した。	A	

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	③ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段			目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)
	3. 人材確保支援の取り組み	市内企業の人材確保を支援するため、産業祭において、市内事業所の紹介イベントシゴトニア★京田辺を実施すると共に田辺高校等と連携し工場見学会等を開催し、学生を中心に就職先としての市内企業を知る機会を増やす	・田辺高校等と連携し市内事業所の工場見学会等を実施し、市内企業の認知度を高め、人材確保に繋げる。 ・産業祭において、市内企業の仕事紹介イベントシゴトニア京田辺を開催し、市内企業の認知度を高める。	59	・田辺高校と連携し、計6社の工場見学会を実施するとともに、新規事業として社長講義、1日企業訪問、職場体験及びその発表会からなる「ものづくり体験」事業を実施、市内企業の認知度を上げるとともに、人材確保へ向けての事業展開を行った。 ・産業祭シゴトニアでは、新たに5事業所・団体の参加を促すことが出来、社会人野球部によるストラックアウトなど市民とのふれあいによる相互理解の機会をつく	A	
	4. 東地区農地乾田化事業	・農作業の効率化や生産性の向上を図るため、農地の乾田化工事を実施することにより、農業の生産環境の整備を図る。	・測量を完了した区域から設計業務を行い、地元区に確認をしながら順次施工を進める。		・A=3.8haの農地を対象に乾田化工事を実施。	A	

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊼ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段			目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)
	5. 担い手農家育成支援	・担い手の不足が、耕作放棄地の発生要因となっているため、担い手を育成し、その解消につなげる。	利用権設定や中間管理機構を利用し、農地の集積を進め、今後の中核的担い手を育成する。 また、地域での集落営農組織の育成を支援する。		・地域(普賢寺、天王、岡村)での会議に普及センター、JAとともに参加し、先進事例や組織運営についての情報提供等を実施した。	B	
	6. 京田辺市地球温暖化対策実行計画の取り組み展開及び推進	平成29年度に策定した京田辺市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定版の確実な実行を展開する。	・京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催 ・関連イベントや広報等による市民への周知		・京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会を開催(2回)した。 ・親子エコクッキング、環境フェスタ、環境セミナー(2回)を開催した。 ・広報に記事を連載(7回)した。 ・区域施策編普及版を作成した。	A	
	7. 廃棄物の不法投棄等への監視や違法造成等への指導を強化するとともに、環境パトロールの実施による良好な生活環境の維持・保全に取り組む。	・家電製品、家庭用ごみなど廃棄物の不法投棄や違法な野焼き、違法造成等に対する監視及び指導を強化し、環境破壊の防止を図る。	環境パトロールや啓発資材等の活用により、廃棄物の不法投棄の監視や防止を強化する。		・環境パトロールを344日実施した。 ・対応件数(不法投棄95件) ・啓発看板や監視カメラ等を活用した不法投棄行為の抑止に努めた。 ・廃棄家電45台を回収し、適正に処理した。	A	

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	③ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段			目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)
	8. ごみの発生抑制・再利用の促進(ごみ減量化対策)及び、ごみ収集処理業務の民間委託の促進 プラスチック容器包装の民間事業者による収集・処理委託の実施。	ごみ処理基本計画に掲げた施策に取り組み、ごみの減量化・再資源化を推進する。 プラスチック容器包装収集・処理の民間事業者への一括委託	・ごみ処理基本計画の推進 ・ごみ減量化推進審議会の円滑運営 ・ごみ組成調査の実施 ・粗大ごみ及び持込みごみの有料化の周知徹底 ・プラスチック容器包装・紙分別収集の周知徹底、リサイクル率の向上		・平成31年10月から市内の民間会社にプラスチック容器包装ごみの収集及び処理を一括で委託している。 ・平成31年1月24日～2月5日の間、調査対象地区を6つに分けて、燃やすごみとプラスチック容器包装ごみの2種類のごみの組成調査を実施した。	B	
	9. 可燃ごみ広域処理施設整備基本計画の推進	ごみの適正処理を継続し行うため、甘南備園焼却施設の建て替え及び枚方市との可燃ごみ処理の広域事業化。	・施設建設地の造成整備に伴う工事の実施設計 ・施設建設地の用地取得 ・枚方京田辺環境施設組合との連携強化	16	・敷地造成実施設計完了 ・施設建設地の用地取得率約95%。 ・枚方京田辺環境施設組合との連携を図り計画を進めた。	B	・用地取得については引き続き取得に向け取り組んでいく。

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】